



# トマトポリフェノール

tomato polyphenol

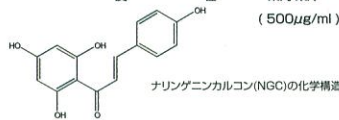
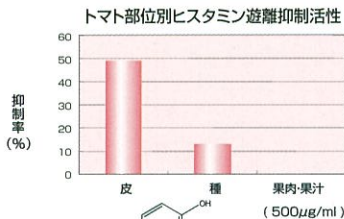
商品名

トマテノール®

トマト抽出物含有

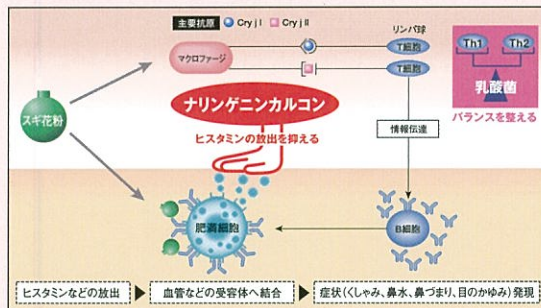
NGC(ナリンゲニンカルコン)を含むトマト抽出物が、  
花粉症の4大症状を緩和することを臨床試験で確認<sup>(1)</sup>

(1) 東方医学, 20(1)33-48, 2004



加工用トマトを果皮、種、果肉・果汁に分別し、ラットの肥満細胞を用いてそれぞれのヒスタミン遊離抑制活性を調べたところ、トマト果皮に強い活性があることが分かった。さらにその活性成分を分離・精製し、化学構造を決定したところ、トマト特有のポリフェノールであるナリンゲニンカルコンであることが分かった。

アレルギー(花粉症など)のメカニズム



抗アレルギー効果を持つトマトの特徴

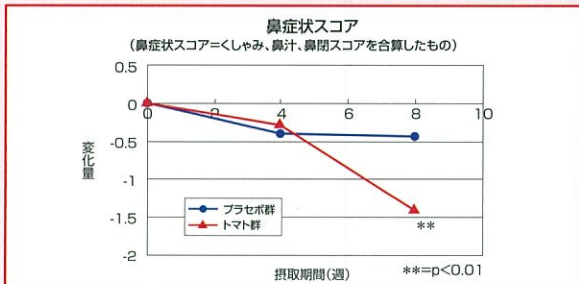
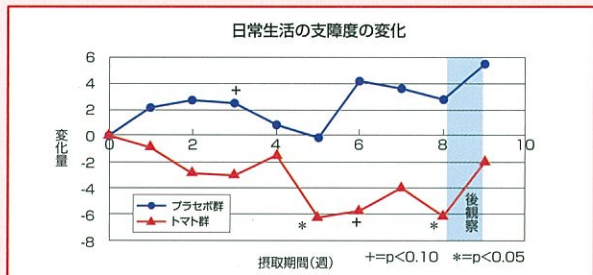
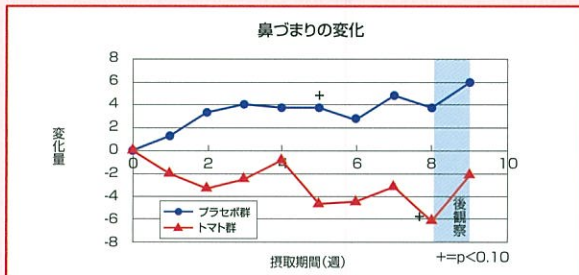
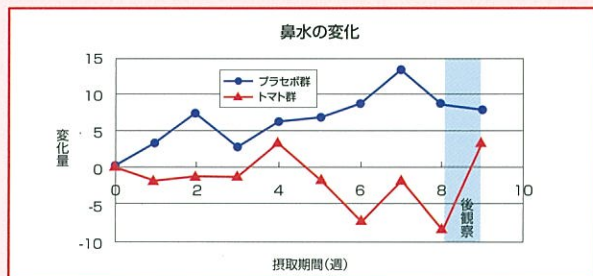
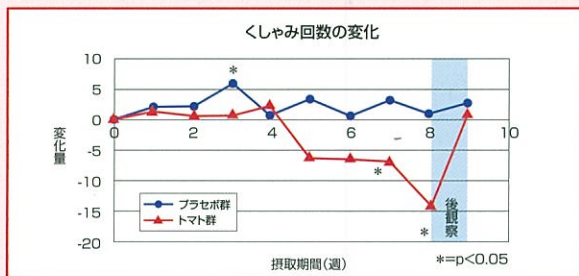
加工用トマト

- トマトジュース用のトマト
- スーパーなどでは入手困難
- 赤トマトという種類
- ナリンゲニンカルコンが多い

生食用トマト

- サラダなどに用いるトマト
- スーパーなどで購入可能
- ピンク系トマトという種類
- ナリンゲニンカルコンが少ない

さらに通年性アレルギー性鼻炎改善効果を臨床試験で確認<sup>(2)</sup>



【対象】

通年性アレルギー性鼻炎患者(疾患歴3年、中等症以上)33例

トマト群(トマテノール含有錠摂取群) 17例

プラセボ群(プラセボ錠摂取群) 16例

【方法】

- 1) 試験法 : 二重盲検並行群間比較試験
- 2) 摂取量 : トマテノールとして360mg/日(120mg/回×3回)
- 3) 実施期間 : 2004年10月~2004年12月(スギ花粉飛散期外)
- 4) 効果の判定 : 医師の診断(重症度、鼻症状及び採血、アレルギー日誌)

【まとめ】 トマトに含まれるポリフェノールのNGCは、強い抗アレルギー作用を有していた。このNGCを含有するトマテノールを摂取することにより、通年性アレルギー性鼻炎に対する症状緩和が認められた。

(2) アレルギー-免疫Vol.15, 2008年5月号

【お問い合わせ先】

キッコーマンバイオケミファ株式会社  
〒105-0003 東京都港区西新橋2-1-1 TEL.03-5521-5497 FAX.03-5521-5498

